

# 微酸性電解水3つのキーワード

安全安心

高い除菌力  
不活化力

桁違いに低い  
ランニングコスト

東亜化学工業株式会社

創業60年  
TOA  
CHEMICAL

歯科医院で口内のすすぎ水に



病院で噴霧

待合室の感染予防



TV東京で放映されました



# 安全性



食器や野菜に直接噴霧



2002.6.10  
官報第3378号  
食品添加物

微酸性電解水

ウイルス

菌

触れると直ぐに殺菌反応

直ぐに分解

水

無害な水

次亜ソーの数十倍の能力

微酸性だから人肌と一緒  
アルコールに比べ  
手荒れを大幅軽減

菌・ウイルスをはじめ  
多剤耐性菌にも！！

# 安全でありながら 高い除菌・不活化能力



バンタリー側  
[噴霧なし:3階フロア]  
※2階フロアと同じ位置  
日時:2009年2月10日  
入室人数:施設関係者数名  
一般細菌数:約560個/50L  
注)大きい塊を約500個と計算

これが



バンタリー側  
[Apia-mist連続噴霧中:2階フロア]  
日時:2009年1月26日  
入室人数:清掃業者数名  
一般細菌数:5個(CFU)/50L

激減

※コロニー種類は、黄色:黄色ブドウ球菌群、白色:一般細菌群・大腸菌群と推測されます。

アルカディア殿 Apia-mist 設置2階フロア空中浮遊菌サンプリング培養結果写真



教室側  
[噴霧なし:3階フロア]  
※2階フロアと同じ位置  
日時:2009年2月10日  
入室人数:4人  
一般細菌数:約216個/50L  
注)大きい塊を約200個と計算

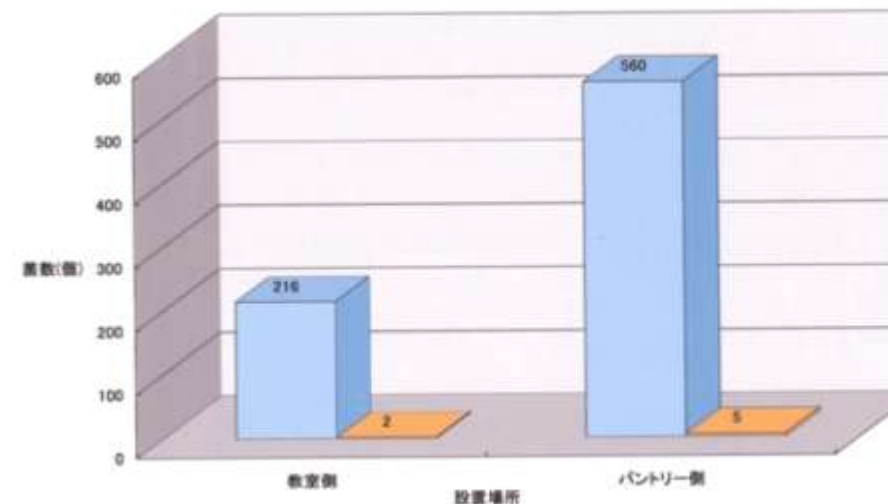
これが



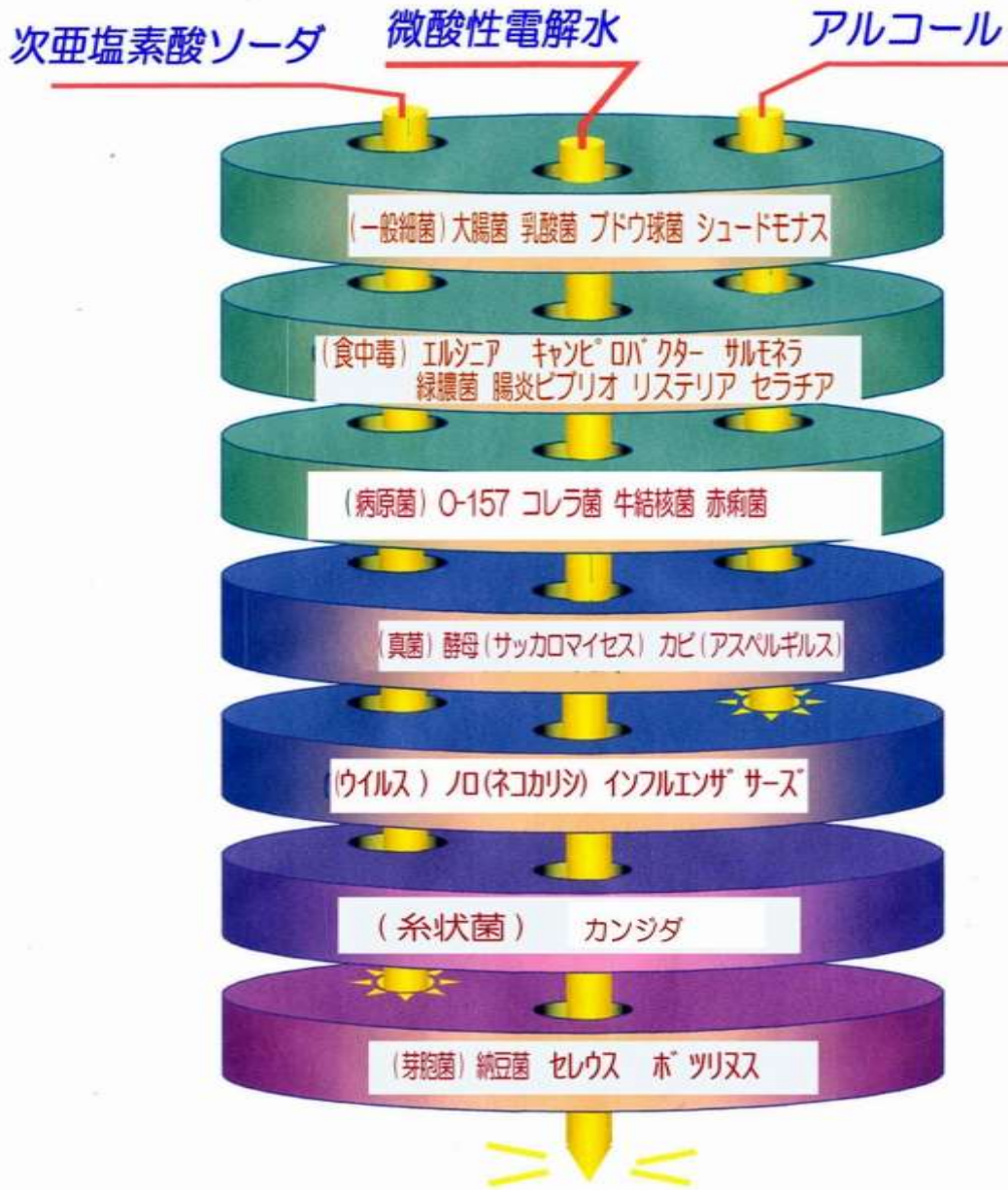
教室側  
[Apia-mist連続噴霧中:2階フロア]  
日時:2009年1月26日  
入室人数:清掃業者数名  
一般細菌数:2個(CFU)/50L

激減

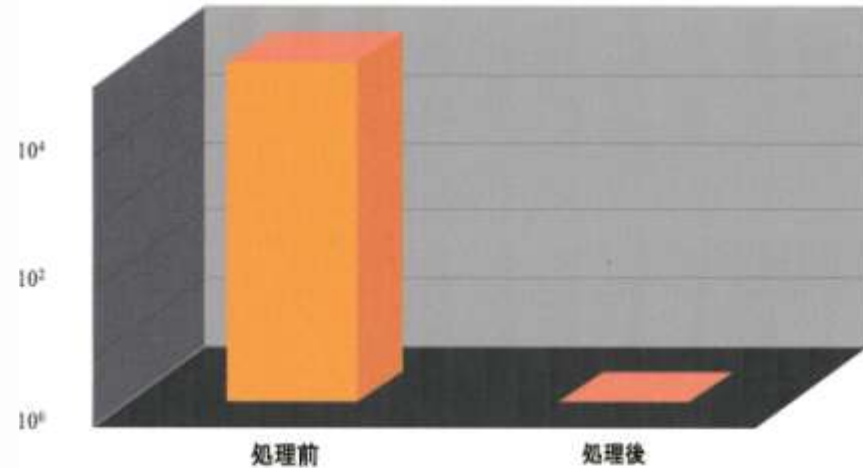
アルカディア殿 Apia-mist設置フロア空中浮遊菌測定結果



殺菌スペクトル

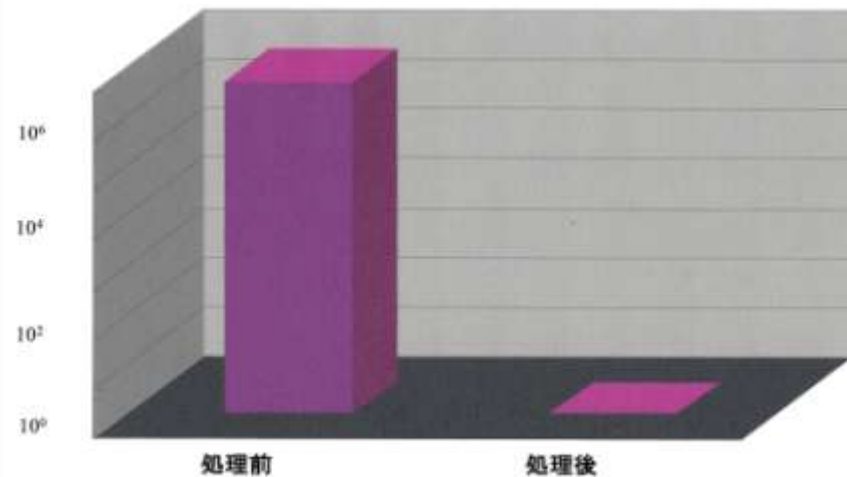


インフルエンザウイルスA型 (H1N1)



(微酸性電解水 有効塩素濃度23~25ppm、pH6.2~6.3)  
両方とも、2007年3月(財)日本食品分析センター大阪支所調べ

ノロウイルス (ネコカリシウイルス)



# 桁違いに低いランニングコスト

## 除菌製品（抗ウイルス用）コスト比較

除菌製品	原料	1㊦当たりのコスト（円）		備考
微酸性(アクアニターユニット)電解水	希塩酸	1.11		
微酸性(Apia 60)電解水	希塩酸	A	B	
		1.48	1.29	
某社製 次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸	次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸の混合	350		機能水はどんなに購入しても価格は下がらない
某大手メーカー製 除菌水A	エタノール	620		アルコールは手荒れの問題を避けられない
某大手メーカー製 除菌水B	エタノール	1,000		

◎ 微酸性電解水生成器 Apia60（原料の希塩酸1本＝1㊦で1,800㊦の微酸性電解水を生成可能）

A 1ケース（1㊦×3本入＝5,400㊦の微酸性電解水生成） 8,000円

B 6ケース（1㊦×18本入＝32,400㊦の微酸性電解水生成） 42,000円

2010年10月1日  
東亜化学工業株式会社

